

実施要領（別府市）

## 別冊 1：各種予防接種説明書について

1. ロタウイルス	P1
2. B 型肝炎	P2
3. 小児肺炎球菌	P3
4. 五種混合	P4
5. ヒブ	P5
6. BCG	P6
7. MR	P7
8. 水痘	P8
9. 日本脳炎	P9
10. 二種混合	P10
11. ヒトパピローマウイルス感染症	P11
12. おたふくかぜ	P12
13. RS ウイルス母子免疫ワクチン	P13. 14
14. 風しん5期	P15
15. 高齢者肺炎球菌	P16. 17
16. 帯状疱疹ワクチン	P18. 19
17. 成人の風しん	P20

# 重症胃腸炎の予防のため

## ロタウイルスワクチン

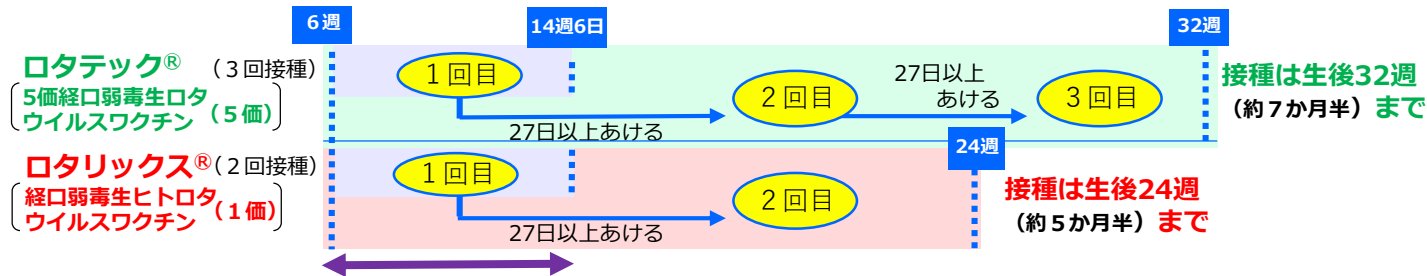
### を接種しましょう！

- ロタウイルスワクチンの初回の接種は、  
**生後6週** (約1か月半) から **生後14週6日** (約3か月と10日) までの間に受けてください。
- **生後2か月**で接種するワクチンが1つ増えました。
  - B型肝炎ワクチン
  - 小児肺炎球菌ワクチン +  **ロタウイルスワクチン**
  - ヒブワクチン

※「ロタウイルスワクチン」は予防接種法に基づく「定期接種」になりました。

### ▶ ロタウイルスワクチンには2種類あり、同様の効果があります。

- 2つのワクチンは接種回数異なります。最初に受けたワクチンと同じ種類を接種してください。



初回接種は、生後6週から生後14週6日までに受けてください！

※ 2回目以降の接種は生後14週6日の前後いずれでも接種できます。

### ▶ 接種後は「腸重積症」に気をつけましょう。様子が気になったらすぐに受診しましょう。

- 腸重積症は、腸の一部が隣接する腸管にはまり込む病気で、速やかな治療が必要です。
- ワクチンの接種にかかわらず、3か月～2歳くらいまでの赤ちゃんがかかりやすい病気です。
- ワクチン接種後（特に初回接種後）1～2週間くらいの間は、かかりやすくなると報告されています。
- 次のような様子が一つでも見られるときは、医療機関を受診しましょう。
  - 「突然はげしく泣く」
  - 「嘔吐を繰り返す」
  - 「便に血が混じる」
  - 「ぐったりして顔色が悪い」
  - 「機嫌が良かったり不機嫌になったりを繰り返す」

※ 月齢が進むと、腸重積症にかかりやすくなります。できるだけ腸重積症の起こりにくい早めの時期に接種を受けましょう。初回接種を生後15週以降に受けることはお勧めしていません。



## B型肝炎

### ア 病気の説明

B型肝炎ウイルスに感染すると、急性肝炎となりそのまま回復する場合もあれば、慢性肝炎となる場合もあります。一部では劇症肝炎といって、激しい症状から死に至ることもあります。また、症状がないままウイルスが肝臓内部に潜み、年月を経て慢性肝炎・肝硬変・肝がんなどになることがあります。特に年齢が低いほど、急性肝炎の症状は軽いかあるいは無症状な一方、ウイルスがそのまま潜んでしまう持続感染の形をとりやすいことが知られています。感染は、肝炎ウイルス（HBs抗原）陽性の母親から生まれた新生児、肝炎ウイルス陽性の血液や体液に直接接触した場合、肝炎ウイルス陽性者との性的接触などで生じます。

### イ 予防接種の方法

B型肝炎の予防接種は、27 日以上の間隔で2回（標準的には生後2か月、3か月）接種し、さらに、**1回目の接種から** 139 日以上の間隔をおいて（\*）1回（標準的には生後7～8か月）の計3回接種をします。

**標準スケジュール**（標準的な接種年齢は、生後2か月、生後3か月、生後7～8か月）

**1回目、2回目**： 1回目を接種したのち、27 日以上の間隔をおいて2回目を接種します。

**3回目**： **1回目の接種から** 139 日以上の間隔をおいて（\*）、3回目を接種します。

**【注意】1回目の接種から3回目の接種までには、おおよそ半年間を要します。**

スケジュールをよくご確認ください。接種をしてください。



\*「139 日以上の間隔をおいて」…20 週後の同じ曜日から接種可能となります。

### ◇接種をおすすめする年齢と無料で受けられる年齢

①

接種をおすすめする年齢

（標準の接種年齢/丸数字は何回目の接種かを表します。）

無料で受けられる年齢

（法律で定められている接種対象年齢）

年齢	生後																										
	2	3	5	6	8	9	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	
予防接種名	か	か	か	か	か	か	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	
B型肝炎	①	②																									

**【注意】**  
1回目の接種から3回目の接種を終えるまで、おおよそ半年間を要します。

### ウ ワクチンの副反応

副反応としては、接種部位の赤み・腫れ・硬結（しこり）・痛み、発熱、倦怠感、頭痛などがみられることがあります。また、極めてまれですが、重い副反応として、アナフィラキシーや急性散在性脳脊髄炎（ADEM）が報告されています。

# きょうの予防接種を安心してうけていただくために

## 小児の肺炎球菌ワクチンのはなし

わからないことは先生に相談しよう！



- お子さんの体調はよいか、熱があったり、ふだんと変わったところはないか確認しましょう。
- 心配なことがあるときは、医師に相談しましょう。質問をメモしておくとなんか伝わりやすくなります。
- 母子健康手帳はかならずもっていきましょう。



1

### 当日はココをチェック



- 小さなお子さんは動かないように、しっかりと抱っこしてあげてください。保護者のみなさまがリラックスすると、お子さんも安心します。
- 注射で泣くお子さんは多いもの。大切な予防接種が苦手にならないように、がんばったことをほめてあげるなど、保護者のみなさまの工夫がカギです。

## 小児の肺炎球菌ワクチンって？

- ◆ 子どもの多くは鼻やのどに肺炎球菌をもっています。体が弱ったりしたときに、肺炎、細菌性髄膜炎<sup>1)</sup>や菌血症<sup>2)</sup>などをひきおこします。
- ◆ 子どもに重い病気をおこしやすい、特定の肺炎球菌の感染を防ぐのが、小児の肺炎球菌ワクチンです。
- ◆ 肺炎球菌ワクチンを接種することで、体のなかに肺炎球菌への抵抗力(免疫)ができます。
- ◆ このワクチンは生後2カ月になってから接種し始めます。
  - 1) 細菌性髄膜炎：鼻やのどにいる菌が血液に入り、脳を包んでいる膜に炎症をおこす重い病気です。耳が聞こえにくくなったり、手足が動きにくくなったりといった障害が残ったり、命にかかわることもあります。
  - 2) 菌血症：細菌が血液のなかに入って高熱がでたりします。

○ 予防接種をうけても、お子さんの体質や体調によって完全な免疫ができないことがあります。また、ワクチンに含まれない種類の肺炎球菌が原因の感染症にかかることはあります。

2

### ワクチンを接種するときのポイント

- 接種直後、30分くらいは接種後の体調変化にすぐ対応してもらえよう、医療機関のなかでお子さんの様子を見てあげるか、すぐに医師と連絡がとれるようにしてください。この間に急な体の変化がおこることがあります。
- 帰宅後もはげしく体を動かすことはさげさせ、接種個所をきれいに保ってあげましょう。
- おふろには入れてもかまいませんが、接種個所をこすらないでください。

予防接種をうけたことは将来、その病気に対して免疫があることを示す大事な記録となります。母子健康手帳は大切にとっておきましょう。

## おこるかもしれない体の変化(副反応)

- ◆ 肺炎球菌ワクチンを接種した後、接種個所が赤くなったり、はれたり、しこりができたり、痛みを感じたりすることがあります。
- ◆ 注射したところだけでなく、熱がでたり、刺激に反応しやすくなったりすることがあります。
- ◆ 乳児はいつもよりむずかたり、眠そうにしたりすることがあります。
- ◆ きわめてまれにアナフィラキシー<sup>3)</sup>、けいれん、血小板減少性紫斑病<sup>4)</sup>などの重い病気にかかることもあるといわれています。
  - 3) アナフィラキシー：急激なアレルギーにより、じんましんがでたり呼吸が苦しくなったりします。
  - 4) 血小板減少性紫斑病：かさぶたをつくる働きの血小板の数が少なくなって、出血しやすくなってしまいます。皮膚の下で出血して青あざがでたり、歯ぐきから血がでたりします。

○ 予防接種をうけた後、気になる症状や体調の変化があらわれたら、すぐ医師に相談してください。



3

### 接種後の注意

# きょうの予防接種を安心してうけていただくために

DPT-IPV-Hibワクチンのはなし

まとめて接種できるワクチンもあるんだな!



## DPT-IPV-Hibワクチンって?

- ◆百日せきは、せきが長く続くことが特徴の病気ですが、小さなお子さんがかかると命にかかわることもあります。
- ◆ジフテリアは、口やのどに細菌がとりついて始まりますが、体中に広がると命にかかわることもある病気です。
- ◆破傷風は、土のなかにいる菌が傷口から入って始まり、病気が進むと体中の筋肉がかたくなってしまいます。重くなると息ができなくなり、命にかかわることもあります。
- ◆ポリオは、便を通じて感染する病気で、手や足が動かせなくなり、場合によっては一生続くことになってしまいます。
- ◆Hib(ヒブ)に感染すると肺炎、細菌性髄膜炎、菌血症、喉頭蓋炎などになってしまいます(疾病の詳しい説明は、「Hibワクチン」のリーフレットをご覧ください)。
- ◆DPT-IPV-Hibワクチンを接種することで、体のなかに百日せき・ジフテリア・破傷風・ポリオ・Hibへの抵抗力(免疫)ができます。
- ◆これらはうつりやすい病気で、免疫をつけることで、まわりの人たちに広がるのをふせぐことができます(破傷風をのぞきます)。
- ◆このワクチンは生後2カ月になってから接種し始めます。

○予防接種をうけても、お子さんの体質や体調によって完全な免疫がでないことがあります。でも予防接種をうけておくと、たとえかかっても、その多くは軽くてすみます。

1

## 当日はココをチェック

- お子さんの体調はよいか、熱があったり、ふだんと変わったところはないか確認しましょう。
- 心配なことがあるときは、医師に相談しましょう。質問をメモしておくとうえやすくなります。
- 母子健康手帳はかならずもっていきましょう。



2

## ワクチンを接種するときのポイント

- 小さなお子さんは動かないように、しっかりと抱っこしてあげてください。保護者のみなさまがリラックスすると、お子さんも安心します。
- 注射で泣くお子さんは多いもの。大切な予防接種が苦手にならないように、がんばったことをほめてあげるなど、保護者のみなさまの工夫がカギです。



3

## 接種後の注意

- 接種直後、30分くらいは接種後の体調変化にすぐ対応してもらえよう、医療機関のなかでお子さんの様子を見てあげるか、すぐに医師と連絡がとれるようにしてください。この間に急な体の変化がおこることがあります。
- 帰宅後もはげしく体を動かすことはさげさせ、接種個所をきれいに保ってあげましょう。
- お風呂には入れてもかまいませんが、接種個所をこすらないでください。

予防接種をうけたことは将来、その病気に対して免疫があることを示す大事な記録となります。母子健康手帳は大切にとっておきましょう。

## おこるかもしれない体の変化(副反応)

- ◆DPT-IPV-Hibワクチンを接種した後、接種個所が赤くなったり、はれたり、しこりができたりすることがあります。
- ◆熱がでたり、おなかをこわしたりするほか、鼻水やせき、ぶつぶつができたり、のどが赤くなる、はき気がすることもあります。
- ◆きわめてまれにアナフィラキシー<sup>1)</sup>、けいれん、けっしょうぼんげんしょうせいしはんびょう血小板減少性紫斑病<sup>2)</sup>、脳炎などの重い病気にかかることがありますともいわれています。
  - 1) アナフィラキシー：急激なアレルギーにより、じんましんができたり呼吸が苦しくなったりします。
  - 2) 血小板減少性紫斑病：かさぶたをつくる働き血小板の数が少なくなって、出血しやすくなってしまいます。皮膚の下で出血して青あざができたり、歯ぐきから血がでたりします。

○予防接種をうけた後、気になる症状や体調の変化があらわれたら、すぐ医師に相談してください。

# きょうの予防接種を安心してうけていただくために

Hibワクチンのはなし

ワクチンで防げる病気もあるんだ!



## Hibワクチンって?

- ◆ Hibとはインフルエンザ菌b型<sup>1)</sup>のことで、口や鼻などから吸いこむことで感染します。毎年冬に流行するインフルエンザのウイルスと名前がにているが、まったく別ものです。
  - ◆ Hibに感染すると肺炎、細菌性髄膜炎<sup>1)</sup>、菌血症<sup>2)</sup>、喉頭蓋炎<sup>3)</sup>などになってしまいます。
  - ◆ Hibワクチンを接種することで、体のなかにHibへの抵抗力(免疫)ができます。
  - ◆ 免疫をつけることで、まわりの人たちに広がるのをふせぐことができます。
  - ◆ このワクチンは生後2カ月になってから接種し始めます。
- 1) 細菌性髄膜炎: 鼻やのどにいる菌が血液に入り、脳を包んでいる膜に炎症をおこす重い病気です。耳が聞こえにくくなったり、手足が動きにくくなったりといった障害が残ったり、命にかかわることもあります。
  - 2) 菌血症: 細菌が血液のなかに入って高熱がでたりします。
  - 3) 喉頭蓋炎: のどの奥がはれてしまう病気です。空気の通り道がふさがり、息ができなくなってしまうこともあります。

○ 予防接種をうけても、お子さんの体質や体調によって完全な免疫ができないことがあります。でも予防接種をうけておくと、たとえかかっても、その多くは軽くてすみます。

- 小さなお子さんは動かないように、しっかりと抱っこしてあげてください。保護者のみなさまがリラックスすると、お子さんも安心します。
- 注射で泣くお子さんは多いもの。大切な予防接種が苦手にならないように、がんばったことをほめてあげるなど、保護者のみなさまの工夫がカギです。



3

## 接種後の注意

- 接種直後、30分くらいは接種後の体調変化にすぐ対応してもらえるよう、医療機関のなかでお子さんの様子を見てあげるか、すぐに医師と連絡がとれるようにしてください。この間に急な体の変化がおこることがあります。
- 帰宅後もはげしく体を動かすことはさげさせ、接種箇所をきれいに保ってあげましょう。
- おふろには入れてもかまいませんが、接種箇所をこすらないでください。

予防接種をうけたことは将来、その病気に対して免疫があることを示す大事な記録となります。母子健康手帳は大切にとっておきましょう。

2

## ワクチンを接種するときのポイント

1

## 当日はココをチェック

- お子さんの体調はよいか、熱があったり、ふだんと変わったところはないか確認しましょう。
- 心配なことがあるときは、医師に相談しましょう。質問をメモしておくとうえやすくなります。
- 母子健康手帳はかならずもっていきましょう。



## おこるかもしれない体の変化(副反応)

- ◆ Hibワクチンを接種した後、接種箇所が赤くなったり、はれたり、しこりができたり、痛みを感じたりすることがあります。
  - ◆ ごきげんが悪くなったり、ものを食べたくなくなったり、熱がでたりすることがあります。
  - ◆ きわめてまれにアナフィラキシー<sup>4)</sup>、けいれん、血小板減少性紫斑病<sup>5)</sup>などの重い病気にかかることがあるともいわれています。
- 4) アナフィラキシー: 急激なアレルギーにより、じんましんができて呼吸が苦しくなったりします。
  - 5) 血小板減少性紫斑病: かさぶたをつくる働き血小板の数が少なくなって、出血しやすくなってしまいます。皮膚の下で出血して青あざができて、歯ぐきから血がでたりします。

○ 予防接種をうけた後、気になる症状や体調の変化があらわれたら、すぐ医師に相談してください。



結核って今もある  
病気なんだな！



- お子さんの体調はよいか、熱があったり、ふだんと変わったところはないか確認しましょう。
- 心配なことがあるときは、医師に相談しましょう。質問をメモしておく伝えやすくなります。
- 母子健康手帳はかならずもっていきましょう。

1

## 当日はココをチェック

- 小さなお子さんは動かないように、しっかりと抱っこしてあげてください。保護者のみなさまがリラックスすると、お子さんも安心します。
- 注射で泣くお子さんは多いもの。大切な予防接種が苦手にならないように、がんばったことをほめてあげるなど、保護者のみなさまの工夫がカギです。



## BCGワクチンって？

- ◆ BCGワクチンは、抵抗力(免疫)の弱い赤ちゃんが結核を発症したり、重い症状の結核になることを防ぐために接種します。
- ◆ BCGワクチンを接種することで、体のなかに結核菌への抵抗力(免疫)ができ、赤ちゃんのうちは免疫をもち続けられます。
- ◆ BCGワクチンは、二の腕の外側の真ん中あたりに2カ所、スタンプを押すように接種します。
- ◆ このワクチンは1歳になるまでに接種することになっています。

○ 予防接種をうけても、お子さんの体質や体調によって完全な免疫ができないことがあります。でも予防接種をうけておくと、たとえかかっても、その多くは軽くてすみます。

2

## ワクチンを接種するときのポイント

- 接種直後、30分くらいは接種後の体調変化にすぐ対応してもらえるよう、医療機関のなかでお子さんの様子をみてあげるか、すぐに医師と連絡がとれるようにしててください。この間に急な体の変化がおこることがあります。
- 帰宅後もはげしく体を動かすことはさげさせ、接種個所をきれいに保ってあげましょう。
- おふろには入れてもかまいませんが、接種個所をこすらないでください。

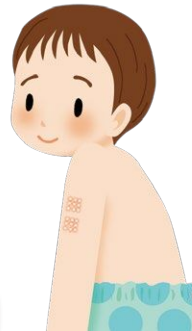
予防接種をうけたことは将来、その病気に対して免疫があることを示す大事な記録となります。母子健康手帳は大切にしておきましょう。

## おこるかもしれない体の変化(副反応)

- ◆ BCGワクチンを接種した後、わきの下や足のつけ根など(リンパ節)がはれたり、全身に赤みがでたりすることがあります。
- ◆ 接種による普通の反応として、5～6週間くらい後、接種個所に赤いぶつぶつや、一部に小さなうみができます。その後、かさぶたになり、接種から3カ月後にはなおります。このような反応は特に心配りませんが、まれに大きなうみになるなど、治療が必要になることもあります。
- ◆ ただし、反応がでる時期には注意が必要です。これらの反応が接種後10日以内にでたら、すでに結核菌に感染している可能性があるため、すぐ医療機関に相談してください。
- ◆ きわめてまれにアナフィラキシー<sup>1)</sup>、骨炎、全身播種性BCG感染症<sup>2)</sup>がおこることがあるといわれています。

- 1) アナフィラキシー：急激なアレルギーにより、じんましんができて呼吸が苦しくなったりします。
- 2) 全身播種性BCG感染症：ワクチンが原因で、重い症状の結核のような状態になってしまいます。

○ 予防接種をうけた後、気になる症状や体調の変化があらわれたら、すぐ医師に相談してください。



3

## 接種後の注意



# きょうの予防接種を安心してうけていただくために

MRワクチンのはなし

父親の協力も大切なんだな!



## MRワクチンって?

- ◆麻しん(M)・風しん(R)は、それぞれのウイルスを口や鼻などから吸いこむことで感染する病気です。うつりやすい病気で、一人がかかると、家族やまわりの人たちに広がってしまうこともあります。
- ◆麻しん(はしか)にかかると、熱やせき、鼻水がでたり、ぶつぶつがでたりします。まれですが、重くなると命にかかわることもあります。
- ◆風しんにかかると熱がでたり、ぶつぶつがでたりします。
- ◆MRワクチンを接種することで、体のなかに麻しん・風しんへの抵抗力(免疫)ができます。
- ◆このワクチンは1歳になってからと、小学校入学前1年間に接種します。

- 妊娠中に麻しんにかかると、流産や早産などの問題をおこすことがあります。
- 妊娠中に風しんにかかると、赤ちゃんに感染し、耳が聞こえにくい、目が見えにくい、生まれつき心臓に病気がある、発達がゆっくりしているなど「先天性風しん症候群」にかかってしまうことがあります。
- 予防接種をうけても、お子さんの体質や体調によって完全な免疫ができないことがあります。でも予防接種をうけておくと、たとえかかっても、その多くは軽くてすみます。

- 小さなお子さんは動かないように、しっかりと抱っこしてあげてください。保護者のみなさまがリラックスすると、お子さんも安心します。



- 注射で泣くお子さんは多いもの。大切な予防接種が苦手にならないように、がんばったことをほめてあげるなど、保護者のみなさまの工夫がカギです。

3

## 接種後の注意

- 接種直後、30分くらいは接種後の体調変化にすぐ対応してもらえよう、医療機関のなかでお子さんの様子を見てあげるか、すぐに医師と連絡がとれるようにしてしてください。この間に急な体の変化がおこることがあります。
- 帰宅後もはげしく体を動かすことはさげさせ、接種個所をきれいに保ってあげましょう。
- おふろには入れてもかまいませんが、接種個所をこすらないでください。

予防接種をうけたことは将来、その病気に対して免疫があることを示す大事な記録となります。母子健康手帳は大切にとっておきましょう。

2

## ワクチンを接種するときのポイント

1

## 当日はココをチェック

- お子さんの体調はよいか、熱があつたり、ふだんと変わったところはないか確認しましょう。
- 心配なことがあるときは、医師に相談しましょう。質問をメモしておくとなんか伝わりやすくなります。
- 母子健康手帳はかならずもっていきましょう。



## おこるかもしれない体の変化(副反応)

- ◆MRワクチンを接種した後、熱がでたり、ぶつぶつがでたりすることがあります。また、接種個所が赤くなったり、はれたりすることもあります。
- ◆きわめてまれにアナフィラキシー<sup>1)</sup>、けいれん、血小板減少性紫斑病<sup>2)</sup>、脳炎などの重い病気にかかることがあるともいわれています。

- 1) アナフィラキシー：急激なアレルギーにより、じんましんがでたり呼吸が苦しくなったりします。
- 2) 血小板減少性紫斑病：かさぶたをつくる働き血小板の数が少なくなって、出血しやすくなってしまいます。皮膚の下で出血して青あざがでたり、歯ぐきから血がでたりします。

- 予防接種をうけた後、気になる症状や体調の変化があらわれたら、すぐ医師に相談してください。



# きょうの予防接種を安心してうけていただくために

水痘ワクチンのはなし

水ぼうそうのワクチンも定期接種になったんだ!



## 水痘ワクチンって?

- ◆水痘は、ウイルスにふれたり、ウイルスを口や鼻などから吸いこんだりすることで感染する病気です。うつりやすい病気で、一人がかかると、家族やまわりの人たちに広がってしまうこともあります。
- ◆水痘にかかると、熱がでたり、なかに水が入ったぶつぶつができたりします。まれですが、重くなると命にかかわることもあります。
- ◆水痘ワクチンを接種することで、体のなかに水痘への抵抗力(免疫)ができます。
- ◆水痘ワクチンを1回接種すれば、水痘にかかることはあるものの重症になることはほとんどなくなり、2回接種すれば、水痘にかかることもほとんどなくなるといわれています。
- ◆このワクチンは1歳になってから接種し始めます。

○予防接種をうけても、お子さんの体質や体調によって完全な免疫ができないことがあります。

- 小さなお子さんは動かないように、しっかりと抱っこしてあげてください。保護者のみなさまがリラックスすると、お子さんも安心します。
- 注射で泣くお子さんは多いもの。大切な予防接種が苦手にならないように、がんばったことをほめてあげるなど、保護者のみなさまの工夫がカギです。



3

## 接種後の注意

- 接種直後、30分くらいは接種後の体調変化にすぐ対応してもらえるよう、医療機関のなかでお子さんの様子を見てあげるか、すぐに医師と連絡がとれるようにしてください。この間に急な体の変化がおこることがあります。
- 帰宅後もはげしく体を動かすことはさげさせ、接種個所をきれいに保ってあげましょう。
- お風呂には入れてもかまいませんが、接種個所をこすらないでください。

予防接種をうけたことは将来、その病気に対して免疫があることを示す大事な記録となります。母子健康手帳は大切にとっておきましょう。

1

## 当日はココをチェック

- お子さんの体調はよいか、熱があったり、ふだんと変わったところはないか確認しましょう。
- 心配なことがあるときは、医師に相談しましょう。質問をメモしておく伝えやすくなります。
- 母子健康手帳はかならずもっていきましょう。



2

## ワクチンを接種するときのポイント

## おこるかもしれない体の変化(副反応)

- ◆健康な子どもや大人では、ほとんど体の変化はみられませんが、ときに熱がでたり、ぶつぶつができたりします。
- ◆まれに接種個所が赤くなったり、はれたり、かたくなったりしますが、数日で消えます。
- ◆きわめてまれにアナフィラキシー<sup>1)</sup>、血小板減少性紫斑病<sup>2)</sup>などの重い病気にかかることがあるともいわれています。

- 1) アナフィラキシー：急激なアレルギーにより、じんましんができたり呼吸が苦しくなったりします。
- 2) 血小板減少性紫斑病：かさぶたをつくる働き血小板の数が少なくなって、出血しやすくなってしまいます。皮膚の下で出血して青あざができたり、歯ぐきから血がでたりします。

○予防接種をうけた後、気になる症状や体調の変化があらわれたら、すぐ医師に相談してください。



# きょうの予防接種を安心してうけていただくために

日本脳炎ワクチンのはなし

父親も  
ワクチンについて  
知っとかない!



- お子さんの体調はよいか、熱があつたり、ふだんと変わったところはないか確認しましょう。
- 心配なことがあるときは、医師に相談しましょう。質問をメモしておく伝えやすくなります。
- 母子健康手帳はかならずもっていきましょう。

1

当日は  
ココをチェック



- 小さなお子さんは動かないように、しっかりと抱っこしてあげてください。保護者のみなさまがリラックスすると、お子さんも安心します。
- 注射で泣くお子さんは多いもの。大切な予防接種が苦手にならないように、がんばったことをほめてあげるなど、保護者のみなさまの工夫がカギです。

2

ワクチンを  
接種するときの  
ポイント

- 接種直後、30分くらいは接種後の体調変化にすぐ対応してもらえよう、医療機関のなかでお子さんの様子を見てあげるか、すぐに医師と連絡がとれるようにしてください。この間に急な体の変化がおこることがあります。
- 帰宅後もはげしく体を動かすことはさげさせ、接種個所をきれいに保ってあげましょう。
- おふろには入れてもかまいませんが、接種個所をこすらないでください。



予防接種をうけたことは将来、その病気に対して免疫があることを示す大事な記録となります。母子健康手帳は大切にとっておきましょう。

## おこるかもしれない体の変化(副反応)

- ◆日本脳炎ワクチンを接種した後、熱がでたり、せきや鼻水がでたりします。
  - ◆接種個所が赤くなることがあります。
  - ◆きわめてまれにアナフィラキシー<sup>1)</sup>、急性散在性脳脊髄炎<sup>2)</sup>、けいれん、血小板減少性紫斑病<sup>3)</sup>、脳炎などの重い病気にかかることもあるといわれています。
- 1) アナフィラキシー：急激なアレルギーにより、じんましんがでたり呼吸が苦しくなったりします。  
2) 急性散在性脳脊髄炎：アレルギーにより脳や脊髄に炎症がおこる病気です。熱がでる、頭が重い、けいれんがおこる、意識がはっきりしないなどの症状がみられます。  
3) 血小板減少性紫斑病：かさぶたをつくる働きの血小板の数が少なくなって、出血しやすくなってしまいます。皮膚の下で出血して青あざがでたり、歯ぐきから血がでたりします。

○予防接種をうけた後、気になる症状や体調の変化があらわれたら、すぐ医師に相談してください。

3

接種後の  
注意

# 二種混合予防接種

二種混合予防接種とは、ジフテリア・破傷風の混合ワクチンの接種です。

## 《ジフテリア》

ジフテリア菌の空気感染により、高熱・のどの痛み・咳・嘔吐等の症状が出ます。ときには、菌の毒素により心筋障害や神経麻痺を起こすこともあります。

## 《破傷風》

破傷風は土の中にいる菌が、傷口から体の中に入ることにかかる病気です。日本中どこの土の中にでも破傷風菌は存在し、患者の半数は軽い傷が原因となります。けいれんや、口が開かないといった症状が出ます。また、命にかかわることもあります。

## ■おこるかもしれない体の変化（副反応）

- 接種した後、接種個所が赤くなったり、はれたり、しこりができたりすることがあります。
- 熱がでたり、お腹をこわしたりするほか、鼻水やせき、ぶつぶつができたり、のどが赤くなる、はき気がすることもあります。
- きわめてまれにアナフィラキシー<sup>※1</sup>、けいれん、血小板減少性紫斑病<sup>※2</sup>、脳炎などの重い病気にかかることもあるともいわれています。

※1：アナフィラキシー：急激なアレルギーにより、じんましんができたり呼吸が苦しくなったりします。

※2：血小板減少性紫斑病：かさぶたをつくる働きの血小板の数が少なくなって、出血しやすくなってしまいます。皮膚の下で出血して青あざができたり、歯ぐきから血がでたりします。

## ■予防接種健康被害救済制度

予防接種は、感染症を予防するために重要なものですが、健康被害（病気になったり障害が残ったりすること）が起こることがあります。極めてまれではあるものの、副反応による健康被害をなくすことはできないことから、救済制度が設けられています。定期接種による健康被害の疑いがある場合は、住民票がある市町村へご相談ください。

（問合せ先）

別府市健康推進課 0977-21-2188



HPVワクチンの公費接種

高校1年相当が最終年度

小学6年～高校1年生相当の女の子が対象

高校1年相当

(今年4月1日時点で15歳)の女の子  
と保護者の方へ



公費による

HPVワクチンの接種は

今年度末(来年の3月末)までです

子宮頸がんは、若い年齢層で発症する割合が比較的高いがんです。

毎年1万人以上の女性が子宮頸がんにかかり、

毎年3,000人以上の女性が子宮頸がんで亡くなっています。

小学校6年～高校1年相当の女の子を対象に

子宮頸がん予防のための

HPVワクチンの公費による接種を提供しています。

高校1年相当(今年4月1日時点で15歳)の女の子は、

公費による接種期間の最終年度にあたります。

接種は合計3回で、完了するまでに約6か月かかるため、接種を希望する方は、

今年の9月までに接種を開始することをご検討ください。

HPVワクチン接種について  
もっと詳しく知りたい方はこちら

厚生労働省ホームページ

厚労省 HPV 検索



HPVワクチンに関する  
よくあるQ&Aはこちら



対象の方には、お住まいの市町村から接種券が届いています。

お手元がない場合は、再発行も可能ですので、市町村にお問い合わせください。

# おたふくかぜ予防接種（任意接種）

おたふくかぜは「流行性耳下腺炎あるいはムンプス」ともいわれ、ムンプスウイルスによる全身性感染症です。

2～3週間の潜伏期の後、耳下腺・顎下腺・舌下腺などの唾液腺の腫脹と圧痛を主症状として急激に発症します。ウイルスが全身の各臓器や組織を侵して神経系組織や内分泌系の腺組織に炎症が及びやすいのが特徴です。

合併症としては、精巣炎、卵巣炎、膵炎、腎炎、髄膜炎、髄膜脳炎および感音性難聴などがあります。

## ■おこるかもしれない体の変化（副反応）

- 接種した後、接種個所が赤くなったり、はれたり、しこりができたりすることがあります。
- 接種後に軽度の耳下腺腫脹や微熱、1,000人～2,000人に一人の頻度で無菌性髄膜炎が発症する可能性があります。
- 熱がでたり、お腹をこわしたりするほか、鼻水やせき、ぶつぶつができたり、のどが赤くなる、はき気がすることもあります。
- きわめてまれにアナフィラキシー<sup>※1</sup>、けいれん、血小板減少性紫斑病<sup>※2</sup>、脳炎などの重い病気にかかることもあるともいわれています。

※1：アナフィラキシー：急激なアレルギーにより、じんましんができたり呼吸が苦しくなったりします。

※2：血小板減少性紫斑病：かさぶたをつくる働きの血小板の数が少なくなって、出血しやすくなってしまいます。皮膚の下で出血して青あざができたり、歯ぐきから血がでたりします。

## ■予防接種健康被害救済制度

予防接種は、感染症を予防するために重要なものですが、健康被害（病気になったり障害が残ったりすること）が起こることがあります。極めてまれではあるものの、副反応による健康被害をなくすることはできないことから、救済制度が設けられています。

おたふくかぜ予防接種は任意接種（予防接種法に基づかない接種）となるので、健康被害の疑いがある場合は、独立行政法人医薬品医療機器総合機構法（PMDA）へご相談（Tel0120-149-938）ください。

（問合せ先）

別府市健康推進課 0977-21-2188



令和8年度から、  
妊娠28週～36週の妊婦の方を対象に

# RSウイルス 感染症に対する 母子免疫ワクチンの 定期接種を実施します。

## RSウイルス感染症は乳幼児が感染すると重症化することがあります


RSウイルスは小児や高齢者に呼吸器症状を引き起こすウイルスで、2歳までにほぼ全ての乳幼児がRSウイルスに少なくとも1度は感染するとされています。

感染すると、発熱、鼻水、咳などの症状が出現し、初めて感染した乳幼児の約7割は軽症で数日のうちに軽快しますが、約3割では咳が悪化し、重症化することがあります。

2010年代には、年間12万人～18万人の2歳未満の乳幼児がRSウイルス感染症と診断され、3万人～5万人が入院を要したとされています。



### 定期接種の対象



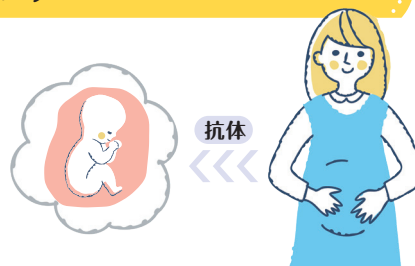
接種時点で、**妊娠28週0日** から **36週6日** までの妊婦の方  
過去の妊娠時にRSウイルスワクチン(母子免疫ワクチン)を  
接種したことがある方も対象になります。

### 定期接種を受ける方法と費用

定期接種はお住まいの(住民票のある)市町村で実施されます。  
接種できる場所や費用について、詳しくはお住まいの市町村にお問い合わせください。また、里帰り出産によりお住まいの市町村外での接種を希望する場合についても、お住まいの市町村にお問い合わせください。

## 使用するワクチン(母子免疫ワクチン)について

母子免疫ワクチン(ファイザー社の組換えRSウイルスワクチン:アブリスボ<sup>®</sup>)を使用します。このワクチンは、妊婦の方に接種すると、母体内で作られた抗体が胎盤を通じて胎児に移行し、生まれた乳児が出生時からRSウイルスに対する予防効果を得ることができます。



接種スケジュール	妊娠28週0日から36週6日までの間に1回接種
----------	-------------------------

## ワクチンの効果

	有効性 <sup>(※1)</sup>	
	日齢0日~90日	日齢0日~180日
RSウイルス感染症による医療受診を必要とした下気道感染症 <sup>(※2)</sup> の予防	6割程度の予防効果	5割程度の予防効果
RSウイルス感染による医療受診を必要とした重症下気道感染症 <sup>(※3)</sup> の予防	8割程度の予防効果	7割程度の予防効果

※1 妊娠24週~36週の妊婦を対象としています。

※2 肺炎、気管支炎等の感染症

※3 医療機関への受診を要する気道感染症を有するRSウイルス検査陽性の乳児で、多呼吸、SpO2 93%未満、高流量鼻カニユラまたは人工呼吸器の装着、4時間を超えるICUへの収容または無反応・意識不明のいずれかに該当と定義しています。

## ワクチンの安全性

ワクチンの接種後に副反応がみられることがあります。

主な副反応には、接種部位の症状(疼痛、腫脹、紅斑)、頭痛、筋肉痛があります。

ワクチン接種による妊娠高血圧症候群の発症リスクに関して、薬事承認において用いられた臨床試験では、妊娠高血圧症候群の発症リスクは増加しませんでした。海外における一部の報告では、妊娠高血圧症候群の発症リスクが増加したというものもありますが、解釈に注意が必要であるとされています。

接種後に気になる症状を認めた場合は、接種した医療機関へお問い合わせください。

### ●他のワクチンとの同時接種について

医師が特に必要と認めた場合は、他のワクチンと同時接種が可能です。

## 予防接種後に健康被害が生じた場合は、救済制度があります

予防接種は、感染症を予防するために重要なものですが、健康被害(病気になったり障害が残ったりすること)が起こることがあります。極めてまれではあるものの、副反応による健康被害をなくすことはできないことから、救済制度が設けられています。

接種を受けたご本人及び出生した児が対象となります。制度の利用を申し込むときは、予防接種を受けた時に住民票を登録していた市町村にご相談ください。



## 風しん第5期予防接種（風しん追加的対策）説明書

- 風しん：風しんウイルスの飛沫感染（風しんに感染している人の咳・くしゃみ等を吸うことで起こる）によって感染します。主に春先から初夏にかけて流行し、軽い風邪症状にはじまり、発しん・発熱・後頸部リンパ節腫脹などが主症状です。潜伏期間は2～3週間で、発疹の出る2～3日前から発疹が出た後の5日くらいまでは感染力があるといわれています。
- 合併症：一般的に予後は良好といわれていますが、まれに血小板減少性紫斑病（症状としては出血斑・鼻血；3000人に1人）や脳炎（症状として発熱持続、けいれん、意識障害；約6000人に1人）といった重い合併症が見られる場合があります。
- 妊娠初期の女性が風しんに感染すると、先天性風しん症候群と呼ばれる病気により、心臓病、白内障、難聴などの障害をもった赤ちゃんが生まれる可能性があります。一緒に生活しているご家族から感染することが多いため、ご家族が風しんに感染しないようにワクチンを受けておくことも大切です。

### ★ 予防接種を受けることができない場合 ★

- (1) 明らかに発熱（通常37.5℃以上）をしている
- (2) 重篤な急性疾患にかかっている
- (3) 明らかに免疫機能に異常のある病気をしている、免疫抑制をきたす治療を受けている
- (4) このワクチンに含まれる成分でアナフィラキシーを起こしたことがある
- (5) その他、医師が接種不相当と判断した場合

### ★ 予防接種の効果と副反応 ★

使用するワクチンは乾燥弱毒生麻しん風しん混合ワクチンです。予防接種を受けると、95%以上の確率で免疫を獲得でき、麻しん・風しんにかかることを防ぐことができます。ただし、予防接種により、軽い副反応がみられることがあり、極めてまれに重い副反応が起こることがあります。

#### 【主な副反応】

発疹、蕁麻疹、かゆみ、発熱、リンパ節の腫れ、関節痛などが認められ、接種部位に発赤、腫れ、痛みがあらわれることがあります。まれに重い副反応として、ショック、アナフィラキシー、紫斑、鼻出血、口腔粘膜出血などの症状が見られる血小板減少性紫斑病発熱が報告されていますが、100万人に1人程度の頻度で見られます。

### ★ 接種後の注意事項 ★

接種当日は接種部位を清潔に保ち、過度な運動を避け静かに過ごしてください。接種後2週間は健康状態や副反応に留意し、何か気になる症状がある場合は、医師にご連絡ください。

### ★ 予防接種健康被害救済制度 ★

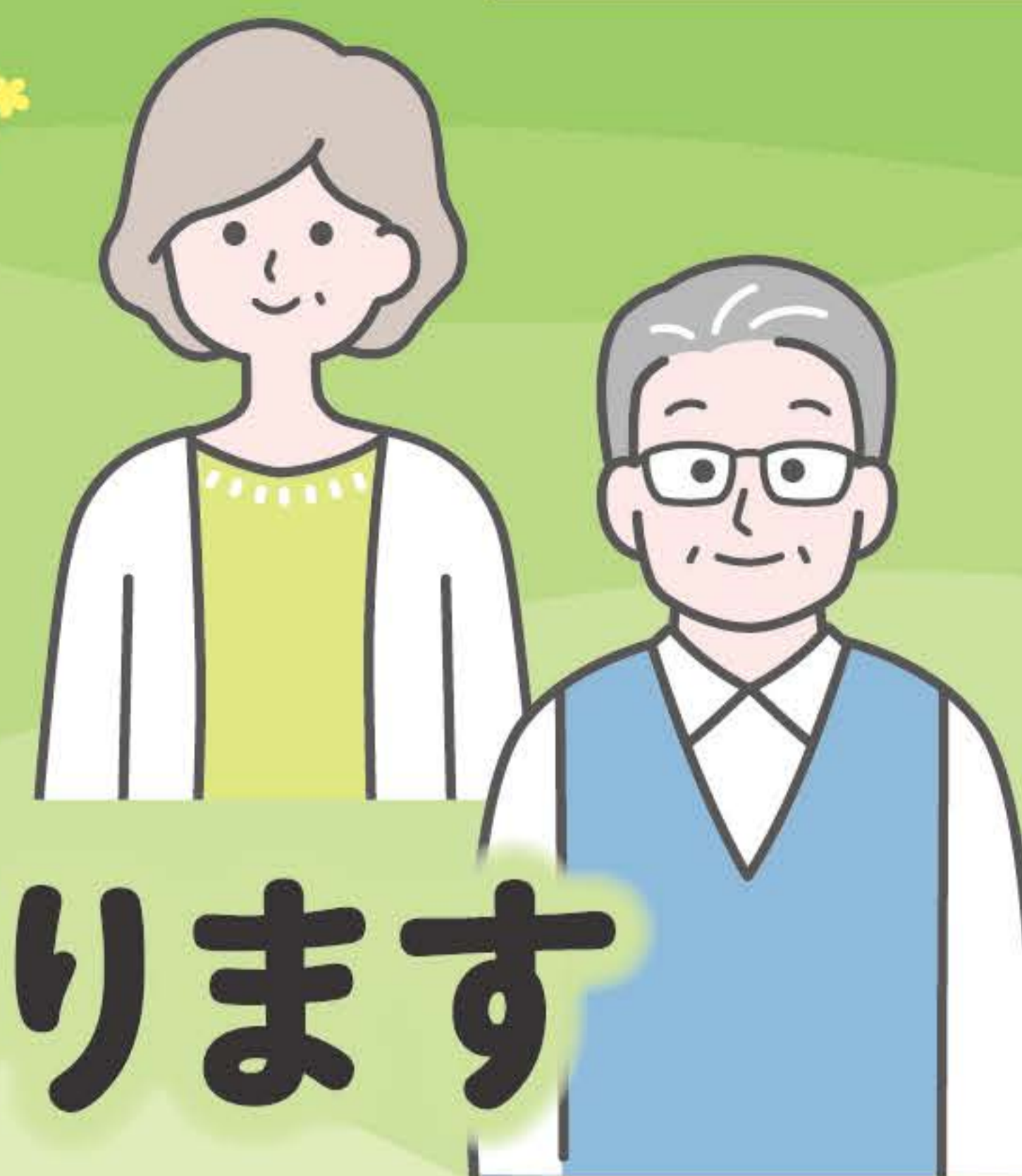
予防接種を受けた方が、疾病、障がい、死亡した場合、予防接種が原因であると認定した際は救済制度があります。下記までお問合わせください。

問合わせ先：別府市健康推進課 TEL 21-2188

肺炎の主要な原因である

肺炎球菌の感染症を

予防できるワクチンがあります



**65歳の方**などを対象に定期接種を実施しています。

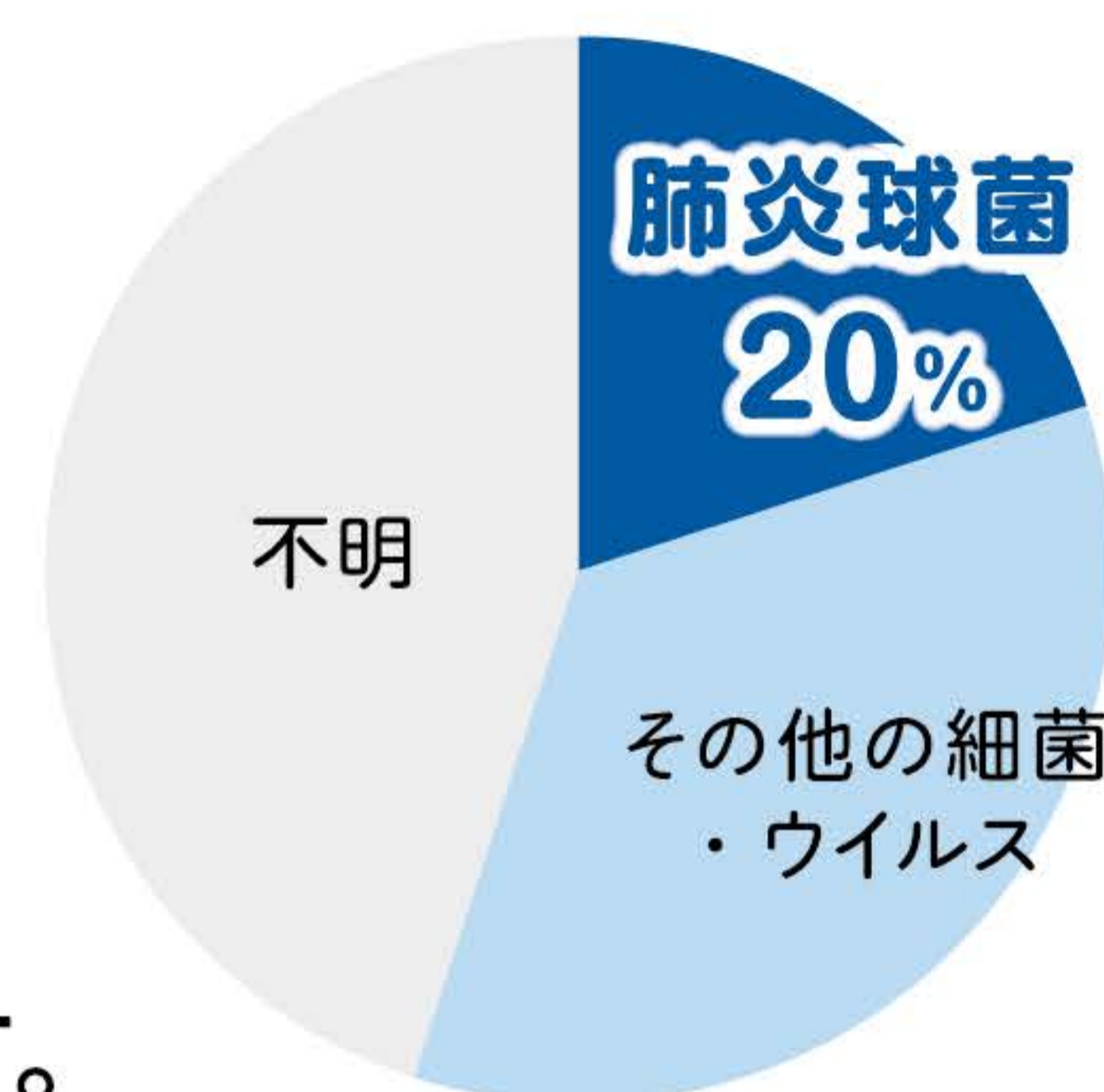
## 肺炎球菌とワクチンについて

○肺炎は日本の死亡原因の第5位であり、成人の肺炎の約2～3割は、肺炎球菌という細菌により引き起こされるとの報告があります。

○肺炎球菌は、このほかにも、血液の中に細菌が回ってしまう敗血症（はいけつしょう）などの重い感染症の原因になることがあります。

○肺炎球菌による感染症に対して、すべての肺炎などが防げるわけではありませんが、有効性・安全性が確認されているワクチンがあります。

〈肺炎の原因(※)〉



(※) Y Fujikura, et.al. BMJ Open Respiratory Research 2023; 10 (1) :e001800 の結果より作図

## 定期接種の対象と使用するワクチン

■対象となる方(定期接種は①、②、③を通して生涯で1回のみとなります)

### ① 65歳の方

注意

定期接種の機会は今65歳の1年間です。定期接種の対象となる方で、接種を希望する方は、接種の機会を逸することがないようにご注意ください。

注：65歳を超える方を対象とした経過措置は2024年3月31日に終了しました。

② 60～64歳で  
心臓や腎臓、呼吸器の機能に障害があり、  
身の回りの生活を極度に制限される方

③ 60～64歳で  
ヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に  
障害があり、日常生活がほとんど不可能な方

■定期接種で使用するワクチン：沈降20価肺炎球菌結合型ワクチン(PCV20)

## ワクチンの効果

- 肺炎球菌には100種類以上の血清型があり、定期接種で使用される「沈降20価肺炎球菌結合型ワクチン(PCV20)」はそのうちの**20種類の血清型を対象としたワクチン**です。
- この20種類の血清型は、**成人侵襲性肺炎球菌感染症(※)の原因の約5～6割を占めると**いう研究結果があります。
- また、このワクチンは、**血清型に依らない侵襲性肺炎球菌感染症を約3～4割程度を予防する効果**があるという研究結果があります。

(※)侵襲性感染症とは、本来は菌が存在しない血液、髄液、関節液などから菌が検出される感染症のことをいいます。

## ワクチンの安全性

- このワクチンの接種後に、副反応が生じることがあります。
- 主な副反応には、接種部位の症状(痛み、赤み、腫れなど)、筋肉痛、だるさ、発熱、頭痛などがあります。
- 接種後に気になる症状や体調の変化があらわれたら、**すぐ医師にご相談ください。**





## 定期接種を受ける方法・費用

- 定期接種はお住まいの(住民票のある)市町村(特別区を含む。以下同じ。)で実施されます。
- 接種を受ける場所や費用についての詳細は、お住まいの市町村にお問い合わせください。

### 予防接種健康被害救済制度について

予防接種は、感染症を予防するために重要なものですが、健康被害(病気になったり障害が残ったりすること)が起こることがあります。極めてまれではあるものの、副反応による健康被害をなくすことはできないことから、救済制度が設けられています。

制度の利用を申し込むときは、予防接種を受けたときに住民票を登録していた市町村にご相談ください。

<p>より詳しい情報については、右記のホームページをご確認ください。</p>	<p>肺炎球菌感染症(高齢者)について→</p>		<p>予防接種健康被害救済制度について→</p>	
<p>ホームページをご覧になれない場合は、お住まいの市町村等にご相談ください。</p>	<p>厚労 肺炎球菌 高齢者 <b>検索</b></p>	<p>厚労 予防接種 救済 <b>検索</b></p>		

お問合せ先

別府市健康推進課

☎ 0977-21-2188

令和7年度から **65歳以上の方などを対象に**

# 带状疱疹ワクチンの 定期接種を実施します。



**带状疱疹は、痛みを伴う皮膚の病気です**

- 带状疱疹は、水痘带状疱疹ウイルスが再活性化することにより、神経に沿って、**痛みを伴う水疱(水ぶくれ)**が現れる皮膚の病気です。
- 合併症の一つに、皮膚の症状が治った後にも痛みが残ることがあり、日常生活に支障をきたすこともあります。

## 定期接種の対象、接種する方法・費用

### 定期接種の対象

対象者は年度によって異なります。  
接種の機会を逃さないようご注意ください。

#### ①年度内に **65歳を迎える方**

②60～64歳で、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能の障害があり、日常生活がほとんど不可能な方

(注1) 令和7年度から5年間の経過措置として、その年度に**70、75、80、85、90、95、100歳になる方**も対象となります。

(注2) 令和7年度に限り、**100歳以上の方**は全員対象となります。



### ワクチンを接種する方法と費用

定期接種はお住まいの(住民票のある)市町村(特別区を含む)で実施されます。  
**ワクチンを接種できる医療機関や費用、申し込み方法などについては、お住まいの市町村にお問い合わせください。**

## ◎ワクチンの特徴

- 带状疱疹ワクチンには2種類あり、接種方法や、効果とその持続期間、副反応などの特徴が異なりますが、いずれのワクチンも、带状疱疹やその合併症に対する予防効果が認められています。

	生ワクチン(阪大微研)	組換えワクチン(GSK社)
接種方法	皮下に接種	筋肉内に接種
接種回数と間隔	1回	2回(2か月以上の間隔をあける)※
接種条件	病気や治療によって、 免疫の低下している方は接種できません	免疫の状態に関わらず接種可能

(※) 病気や治療により、免疫の機能が低下したまたは低下する可能性がある方等は、医師が早期の接種が必要と判断した場合、接種間隔を1か月まで短縮できます。

## ◎带状疱疹に対するワクチンの予防効果

接種後の経過年数	生ワクチン (阪大微研)	組換えワクチン (GSK社)
接種後1年時点	6割程度	9割以上
接種後5年時点	4割程度	9割程度
接種後10年時点	—	7割程度

(注) 带状疱疹後神経痛に対するワクチンの効果は、接種後3年時点で、生ワクチンは6割程度、組換えワクチンは9割以上と報告されています。

## ◎ワクチンの安全性

- ワクチンを接種後に以下のような副反応がみられることがあります。
- 頻度は不明ですが、生ワクチンについては、アナフィラキシー、血小板減少性紫斑病、無菌性髄膜炎が、組換えワクチンについては、ショック、アナフィラキシー、ギラン・バレー症候群がみられることがあります。

主な副反応の発現割合	生ワクチン (阪大微研)	組換えワクチン (GSK社)
70%以上	—	疼痛※
30%以上	発赤※	発赤※ 筋肉痛 疲労
10%以上	そう痒感※ 熱感※ 腫脹※ 疼痛※ 硬結※	頭痛 腫脹※ 悪寒 発熱 胃腸症状
1%以上	発疹 倦怠感	そう痒感※ 倦怠感 その他の疼痛



(※) ワクチンを接種した部位の症状。各社の添付文書より厚生労働省にて作成。

## ◎他のワクチンとの同時接種について

- 带状疱疹ワクチンは、医師が特に必要と認めた場合に、インフルエンザワクチンや新型コロナワクチン等と同時接種が可能です。
- 生ワクチンについては、他の生ワクチンとは27日以上の間隔を置いて接種してください。

### 予防接種健康被害救済制度があります

予防接種は、感染症を予防するために重要なものですが、健康被害(病気になったり障害が残ったりすること)が起こることがあります。極めてまれではあるものの、副反応による健康被害をなくすことはできないことから、救済制度が設けられています。

制度の利用を申し込むときは、予防接種を受けたときに住民票を登録していた市町村にご相談ください。



# 風しん 注意報 発令



## 生まれてくる赤ちゃんのために 「風しんワクチン」

妊婦、とくに妊娠初期の女性が風しんにかかると、生まれてくる赤ちゃんが「先天性風しん症候群」という病気にかかってしまうことがあります。耳が聞こえにくい、目が見えにくい、生まれつき心臓に病気がある、発達がゆっくりしているなど、赤ちゃんがそのような生まれつきの病気にならないよう家族みんなで風しんの予防接種を受けることをご検討ください。

### 女性は妊娠前に

▼  
風しんの予防接種を  
ご検討ください

接種後2ヵ月は避妊が必要です  
接種回数は  
子どもの頃の接種を含めて2回です

### 成人男性は

▼  
風しんにかかったことがない方  
風しんワクチンを受けていない方  
どちらも不明な方

▼  
接種すること  
をご検討ください

2回接種しても問題はありません

### 妊娠中の女性の家族は

▼  
風しんの予防接種を  
ご検討ください

妊婦は風しんの予防接種を受けられません  
1歳児（第1期）と、小学校入学前1年間  
（第2期）は麻しん風しん混合ワクチンの  
定期接種を受けましょう

今は成人に多い病気で、特に10代後半～50代前半の男性、10代後半から30代前半の女性が多く発病しています

特に昭和54年4月2日～平成7年4月1日生まれの男女は接種率が低く、昭和54年4月1日以前生まれの男性は子どもの頃に定期接種のチャンスがありませんでした

風しんの予防接種は、はしか（麻しん）も一緒に予防できる麻しん風しん混合（MR）ワクチンでうけることをお奨めします

厚生労働省、国立感染症研究所、社団法人日本医師会、公益社団法人日本産科婦人科学会、公益社団法人日本産婦人科医会、  
公益社団法人日本小児科学会、一般社団法人日本小児科医会、公益社団法人日本小児保健協会、一般社団法人日本感染症学会、日本ウイルス学会、一般社団法人日本プライマリ・ケア連合学会  
一般社団法人日本保育園保健協議会、日本渡航医学会、日本環境感染症学会、一般社団法人日本耳鼻咽喉科学会、日本ワクチン学会

お問い合わせ先 厚生労働省健康局結核感染症課 TEL. 03-5253-1111(代) 国立感染症研究所感染症情報センター TEL. 03-5285-1111(代)

風しん 厚労省

検索

風しん 感染研

検索